平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事

図面リスト

A-1	特記仕様書（1）	A-11	看板
A-2	特記仕様書（2）	A-12	仮設工事図
A-3	敷地求積図	A-13	現状図
A-4	全体　配置図・平面図	A-14	解体図
A-5	土塀　立面図		
A-6	土塀　断面詳細図・立面図		
A-7	ｻｲｸﾙﾎﾟｰﾄ平面図・立面図・断面図	E-1	電気設備　特記仕様書
A-8	ネットフェンス　立面図・断面図	E-2	電気設備　設備図
A-9	杭伏図・地盤改良図	M-1	機械設備設備　特記仕様書
A-10	銘鈑	M-2	機械設備設備　配置図

							図面名称 図面リスト	縮尺 NS	図面番号
			査図	担当	作図		工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付

頁 全

工事概要

1. 工事名称		平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事
2. 工事概要		駐輪場整備及び駐車場整備
3. 工事発注者		伊賀市
4. 敷地	建設地	伊賀市丸之内62の一部
	敷地面積	1104.19 ㎡（駐車場 737.1 6㎡、駐輪場 330.46 ㎡、地下道 36.57 ㎡）
	法規制	都市計画区域、商業地域、準防火地域、法22条区域
5. 工期		
6. 建物概要	用途	自転車駐車場（コード 08500）
	規模	地上1階建
	構造	アルミ製
	建築面積	64.44 ㎡　　建蔽率 19.50 %
	延床面積	121.74 ㎡（容積対象床面積 121.74 ㎡）　容積率 36.84 %
	軒高	2.07 m
	最高部高	2.2565 m
7. 別途工事		
共通事項		工事中の法規改正及び関係官庁よりの指導事項等による変更工事
建築工事		図示のない什器備品、家具
電気設備工事		電力引込工事需要家負担金、電話債権及び局電話用配線、機器取付工事
給排水衛生設備工事		給水加入負担金
各設備工事使用料金		電気、水道、ガス等の本設後引渡しまでの基本料金及び使用料金は施工業者の負担とする
8. 建築工事仕様		1. 図面及び特記仕様書に記載のない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事共通仕様書(最新版)に準じる
		2. 特記仕様（1)項目は番号に※印のついたものを適用する（2)特記事項に記載の( )内の番号は建築工事共通仕様書の該当項目、該当表、及び該当図を示す
		3. 本特記仕様書で「図示」とあるのは設計図面記載事項を意味する
		4. 本工事の設計図書の優先順位（1. 現場説明事項 2. 特記事項 3. 各設計図 4. 工事費内訳）
		5. 製造所に記載のある場合は記載された製造所の製品と同等以上のものとする

①一般事項

項目	
1. 適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書、建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房営繕部監修)、工事写真の撮り方、建築鉄骨設計基準及び同解説
2. 電気担当技術者	※ 適用する　・ 適用しない
3. 技能士	適用工事種別
	※ 鉄筋工事　※ コンクリート工事　・ 鉄骨工事　・ ALCパネル工事　・ 防水工事(シーリング)
	・ タイル工事(陶磁器質タイル張り)　・ 木工事　※ 屋根及び樋工事　※ 金属工事　※ 左官工事　・ 建具工事　・ 塗装工事
	・ 内装工事(石膏ボード他ボード張り、合板張り)　※ 植栽工事
4. 建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又はこれと同等以上とする。ただし、同等以上とする場合は監督員の承諾を受けたものとする
	品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努める事
5. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な工法は、当該製品の指定工法による
6. 発生材の処理	※ 構外搬出適切処理
7. 完成写真	下記のものを監督員に提出する

分類規格		撮影箇所数	部数	原版の大きさ
・ カラー	・ キャビネ版	外部（　　）		100×125以上
・ モノクロ		内部（　　）		

	撮影業者　監督員の承諾する業者
8. 設備工事との取り合い	施工範囲　※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
	・ 図示した下地天井、壁ボード類の下地の補強を要する箇所の切込み及び補強
	施工図　設備機器の位置、取合い等の検討できる資料を提出して監督員の承諾を受ける
9. 工事完成図等	※ 作成する　・ 作成しない
10. 設計GL	※ 図示　・ 現状GL
11. 工事区分等	図示によるほか、工事区分表による。ただし疑義を生じた場合は工事着手前に質疑応答書をもって確めなければならない設備工事など他の工事との取合い
	部分の、補強、納まり、仕上げなど検討できる施工図提出して監督員の承諾を受ける
	駐輪場新設工事が完了するまでの間、既存駐輪場を共用するため、駐車場整備工事は駐輪場整備工事完了後着手するものとする
12. 責任施工保証書	次の件名の責任施工の工事保証書を施工業者及び製造所との連名にて竣工と同時に提出する
	提出部数は本書、写し各一部以上とし監督員の承諾を受ける
	件名　※ 屋根工事　・ 防水工事
13. 起工式、上棟式	
14. 契約	・ 本工事の契約は、(社)日本建築学会、(社)日本建築家協会、(社)日本建築協会、(社)全国建設業協会の規定する四会連合協定工事請負契約約款による。
15. 損害保険	・ 請負者は、自己の負担にて監督員の承諾する妥当な金額の損害保険を付し、その写しを提出する。
⑯提出図書	※ 本工事の施工に伴う提出図書は下記に定める他、必要に応じて監督員と協議の上作成する。提出部数は監督員の指示による。

提出図書	部数	提出時期	備考
①工事請負契約書		契約時	甲乙用のもの
②工事工程表		契約後速やかに	ネットワーク工程表
③現場代理人及び主任技術者		契約後速やかに	経歴書、資格証明
④部分下請届		契約後速やかに	
5. メーカーリスト		契約後速やかに	
⑥仮設計画書		契約後速やかに	
⑦施工図、製作図		実施15日前	各工事毎
⑧工事履行状況報告書		1カ月毎	工事進捗表、写真、日報
⑨工事打合簿		その都度	
⑩官公署届出書類控			
⑪材料試験報告書		試験後10日以内	コンクリート強度試験
⑫工事完成報告書		竣工時	
13. 工事竣工引渡書		竣工時	
⑭工事竣工図		竣工後30日以内	工事写真をファイルしたものを含む
⑮工事完成写真		竣工後30日以内	
⑯工事保証書、取扱説明書		竣工時	
17. 鍵リスト		竣工時	鍵ケース共
18. その他		監督員の指示による	

・構造特記仕様書を参照すること

17. 定例打合会議	※ 工事の円滑な進行を図るため、監督員の指示により工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打合せを行う。
	※ 受注者は定例打合会議の議事録をとり、その都度監督員の承諾をえる。
18. 既存部分との取合い	・ 既存建物と今回工事の取合い部分、その他ではつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は完全に工事着手前の状態に復旧しなければならない。
19. 支給品	

②仮設工事

1. 監督員事務所	・ 設ける　※ 設けない　　監督員事務所の規模（　・ 1号　・ 2号　・ 3号　・ 4号）
2. 工事用水	構内既存の施設　　※ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　・ 利用できない
3. 工事用電力	構内既存の施設　　※ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　・ 利用できない

③土工事

1. 埋戻し及び盛土の種別	・ A種(山砂の類)　※ B種(根切土の中の良質土)　・ C種(他現場の建設発生土の良質土)　・ D種(再生コンクリート砂)
2. 残土処分	※ 構外搬出適切処理　・ 構内指示の場所に敷均し　・ 構内指示の場所に堆積
	※ 処分地未定につき、相互協議とする。(暫定運搬距離8km)

④地業工事

1. 載荷試験	・平板載荷試験（ ）箇所 最大荷重（　）t/㎡ 試験を行う深さGL-（　）m及び土質（　）
	・杭載荷試験（ ）箇所　最大荷重（　）t/㎡ 試験種別（　　）
	方法は敷地調査共通仕様書により、試験位置は図示による。
2. 既成コンクリート杭地業	杭の種類　・ PHC杭(遠心力高強度コンクリート杭)　・ SC杭(外殻鋼管付コンクリート杭)　・ PRC杭(プレストレスト鉄筋コンクリート杭)
	試験杭　杭径（ ）mm 長さ（ ）m 継手箇所数（ ）長期設計支持力（　）N/mm
	本杭　杭径（ ）mm 長さ（ ）m 継手箇所数（ ）長期設計支持力（ ）N/mm
	継手　　※ アーク溶接
	杭の施工法

3. 鋼杭地業	材料	規格名称	種類の記号	寸法mm	
		※ 羽付鋼管杭	※ STK400	φ190.7	設計杭耐力　長期　200KN/本　短期　400KN/本
		・ H型鋼杭	・ SHK400　・ SHK400M　・ SHK490		

4. 場所打コンクリート杭地業	コンクリート種別（・ A種　・ B種）
	鉄筋の種別　　5章2節「材料」による
	工法　　（・ アースドリル工法　・ リバース工法　・ オールケーシング工法　・ 場所打鋼管コンクリート杭工法　・ 拡径杭工法）
5. 地盤改良	種別　※ 表層改良　　設計基準強度　150 KN/m2
	寸法　※ 図示
6. 割石、砂利地業	種別　※ 再生クラッシャーラン　・ 切込砂利　・ 切込砕石
	厚さ　※ 100mm　※ 150mm
7. 捨コンクリート地業	コンクリートの設計基準強度　Fc (18) N/mm2
	厚さ　※ 50mm　・（　）mm
8. 防湿層	・ ポリエチレンフィルムの厚さ0.15mm以上　・ 重ね巾縦横共250mm以上
	施工箇所　・ 建物内の土間スラブ(土間コンクリートを含む)の直下

⑤鉄筋工事

1. 鉄筋の種類	鉄筋	種類	種別	径(mm)
	※ 異形鉄筋	※ A種	※ SD295A	※ 10　※ 13　・ 16
			・ SD345	・ 19
		・ B類		
	・ 丸鋼	・ A類		
		・ B類		

2. 溶接金網	※ JIS規格品　網目の形状　・ 寸法（　×　）、鉄線の径（　）mm、施工箇所（犬走り他）
3. 鉄筋の継手	※ 重ね継手　・ ガス圧接
4. 鉄筋のかぶり厚さ	※ 外壁のかぶり厚さは目地底から算定する。(表 5.3.6)
	耐久上不利な箇所のかぶり厚さ

施工箇所	表 5.3.6の値に加える寸法(mm)

⑥コンクリート工事

1. レディーミクストコンクリートの種類	※ Ⅰ類　・ Ⅱ類
2. セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント(又は混合セメントのA種)　・ 早強ポルトランドセメント
3. スランプ	※ 15cm　※ 18cm
4. 骨材	砕砂及び砕石の種類　※ A種　・　(※コンクリート中のｱﾙｶﾘ総量Rt=0.3kg/m3以下　・ セメントの種類高炉セメントB種)
5. 細骨材の塩分含有量	※ 0.04以下(°/wt)　・ 0.1以下(°/wt)
6. 混和材料	混和剤（※JIS6204によるAE剤、AE減水標準型のⅠ種）
	混和材（※JIS6201によるフライアッシュ）
7. 普通コンクリート	※ 図示

設計基準強度 Fo(N/mm2)	施工箇所
※ 21	土塀躯体、独立基礎、布基礎
※ 18	土間

	所要空気量（°/wt）※ 4

8. コンクリートこて仕上げ	種別	施工箇所
	※ A種	土間
	・ B種	一般屋根防水層下地、防水下地

7鉄骨工事

1. 鋼材	鋼材　(別図による)

種別	使用箇所	規格等
		※ JIS規格品
		※ JIS規格品

2. 高力ボルト	・ トルシア形高力ボルト　（ セットの種類　・ 2種(S10T)　・　）
	・ JIS形高力ボルト　（ セットの種類　・ 2種(F10T)　・　）
	・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（ セットの種類　・ 1種(F8T相当)　・　）
3. ターンバックル	・ JIS A5540(建築用ターンバックルの規格品)による。
	ターンバックル胴（・ 割枠式　・　）　ターンバックルボルト（・ 羽子板ボルト　・ アイボルト　・ 両ネジボルト）

・・	・・	・・	・・	・・	図面名称：特記仕様書(1)　縮尺：NS　図面番号：A-1　頁：全
	査図	担当	作図		工事名称：平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事　コード：　設計日付：・・

8 組積工事

1. 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 ・ C種普通ブロック
	鉄筋の種類 ・異形鉄筋 (・ A類( ) ・ B類( ))
	・丸鋼 (※ A類( ) ・ B類( ))
2. ALCパネルの種類	・ 外壁用パネル ・ 間仕切り用パネル ・ 屋根用パネル ・ 床用パネル
	適用

9 防水工事

1. アスファルト防水

種別	施工場所	材料
		アスファルト ・ 3種 ・ 4種
		アスファルトルーフィング ・ 35kg品 ・ 45kg品

2. 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

種類	厚さ(mm)	仕上げ塗料	使用分類	施工箇所
		・ シルバー	・ 非歩行	
		・ カラー	・ 軽歩行	

3. 塗膜防水

種別	仕上げ塗料	施工箇所

4. シーリング材料

種別	材種	施工箇所		
・ A種	・ シリコーン (1成分形) 高ﾓｼﾞｭﾗｽ形	ガラス方立、ガラス突付け		ガラス留め
・ B種	・ シリコーン (1成分形) 低ﾓｼﾞｭﾗｽ形	金属製笠木目地		
	・ シリコーン (2成分形)	建具周囲		
・ C種	・ ポリサルファイド (2成分形)	建具周囲	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	
	・ 変成シリコーン (2成分形)	コンクリート壁目地	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	
	・ 変成シリコーン (1成分形)	タイル目地		
・ D種	・ ポリウレタン	ALC目地、サイディング目地		

接着性試験 ・ 行う ・ 行わない

5. ルーフィング

※ アスファルトルーフィング940 ・ ゴムアスルーフィング ・ 透湿型ルーフィング

⑩ 石工事

1. 花崗岩乱積み

仕上げ (・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き ※ 割肌) 施工箇所 (土塀)

仕上げ (・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き) 施工箇所 ( )

種石の種類 (・ 花崗岩 ・ 大理石)

11 タイル工事

1. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類

施工箇所	形式・寸法		生地			釉薬		役物		色		備考
		(mm)	磁器	炻器	陶器	無釉	施釉	有	無	標準	注文	

タイル張りの工法 ・ 11.3.2表による。

製造所 LIXIL同等以上

12 木工事

1. 木材の材質

材質 ・ 日本農林規格による。

含水率 構造材・下地材(20°/wt) 造作材(15°/wt) 含水率試験(※ 行う ・ 行わない)

2. 樹種・等級

・ 図示

・ 図示のない場合は(12.2.3表)による代用樹種とする。

3. 防蟻処理

・ 行う(施工箇所:) ・ 行わない

⑬ 屋根及び樋工事

1. 長尺金属板葺

材質	厚さ(mm)	塗装	葺形式	施工箇所

2. 折板葺

材質	厚さ(mm)	塗装	山高	山のピッチ	緊結方式	施工箇所
					・ ボルト式	
					・ はぜ方式	

③粘土瓦葺

材料 ※ JIS A5208(ねんど瓦)による。 寸法・種別 ※ 図示

工法 ・ 引掛け桟瓦葺き ※ 土葺き

4. 樋

材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル ※ 塩ビ被覆鋼板

製造所 パナソニック電工 ファインスケア同等以上

14 金属工事

1. ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理

種類	施工箇所

2. 金属成形板張り

材質	施工箇所

3. 手摺 (バルコニー)

	笠木	ブラケット	手摺子	製造所 LIXIL YKKap
材料	・ アルミ	・ アルミ	・ アルミ	
仕上	・ ダイキャスト	・ ダイキャスト	・ ダイキャスト	

⑮ 左官工事

1. 仕上塗材仕上げ

名称	種類	仕上げ	工法	上塗材
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材( )	・ 砂壁状	・ 吹付け	
	・内装薄塗材( )	・ ゆず肌状	・ ローラー塗り	
	・可とう形外装薄塗材( )	・ さざ波状		
・ 厚付仕上塗材	・外装厚付材( )	・ 模様吹き	・ 吹付け	
	・内装厚付材( )	・ 凹部処理	・ ローラー塗り	
・ 複層仕上塗材	・複層塗材( )	・ 凹部処理	・ 吹付け	材料 ・ アクリル樹脂エナメル
	・可とう形複層塗材( )	・ 凹凸模様	・ ローラー塗り	・ ウレタン樹脂エナメル
	・防水形複層塗材( )	・ ゆず肌状		色彩 ・ 光沢

②モルタル塗り 軽量モルタル 下塗り、中塗り

③漆喰塗り 砂漆喰下塗り 漆喰上塗り(砂漆喰、漆喰上塗り)

16 建具工事

1. アルミニウム製建具

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種

性能 耐風圧性(・ S-4) 気密性(・ A-3) 水密性(・ W-4)

見込 ・ 70 ・ 100

表面処理 外部建具(・ B-1種 ・ B-2種) 内部建具(・ C-1種 ・ C-2種)

製造所 YKKap、LIXIL、不二サッシ、三協立山アルミ

2. 鋼製軽量建具

製造所

3. 木製建具

製造所 ・ 監督員の承諾する製造所

4. ﾊﾟﾈﾙ間仕切り

材料 ・ 製造所の仕様による。

製造所

5. 自動ドア機構

検出装置 ・ マットスイッチ ・ タッチスイッチ ・ 光電式

6. 建具金物

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない

種別 ※ 図示 材質 ・ ステンレス

7. ガラス

板ガラス	フロート板ガラス	厚み	ガラス留め材	建具の種類	材種
	網入板ガラス	厚み ・ 6.8		アルミニウム製建具	・ ガスケット(但し、FIX部はシーリング材とする)
		厚み		木製建具	・ 押縁

17 塗装工事

1. 一般塗料

・ JIS表示許可工場の製品とする。

・ 低VOC(揮発性有機化合物)製品を使用すること。

・ ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。

2. 塗装業者

・ 日本塗装工業会の会員 ・ 監督員の承諾する塗装業者

18 内装工事

1. ビニル床タイル及びビニル床シート張り

種類	色柄	厚み	品質・規格	
・ 一般用 ・ 発泡層	・ 無地 ・ 柄物(マーブル)	・ 1.8 ・ 2.3	・ JIS A5705による	・ 遮音防滑性階段床材 ・ 防滑性長尺シート

2. カーペット敷き

材料

種類及びパイルの形状

3. フローリング張り

4. 畳敷き

畳床 ・ A種 ・ B種 ・ C種

5. 石膏ボードその他ボード及び合板張り

種類	厚さ	備考
・ 石膏ボード	・ 9.5 ・ 12.5	
・ 化粧石膏ボード	・ 9.5	
・ 木目化粧石膏ボード	・ 9.5	(・ 柾目 ・ 木目) 木製桟付
・ ロックウール化粧吸音板	・ 9	
・ ケイ酸カルシウム板	・ 6	
・ ラワン合板	・ 5.5 ・ 9	

6. 壁紙張り

符号	種類				防火性能		品質等
	紙	織物	ビニル	無機質	1級	2級	

7. 断熱・防露

断熱材 ・ グラスウール(厚み100mm 24kg/m3)

⑲ 雑工事

1. 表札	・ アルミ製	⑨.看板	※ アルミ製
2. 床下収納庫	・ FRP製	10.	
3. 天井点検口	・ アルミ製	11.	
4. カーテンレール	・ アルミ製 W		
5. 物干金物	・ アルミ製 スライド式		
6. 避難ハッチ	・ ステンレス製		
⑦.ネットフェンス	※ 溶融亜鉛メッキ		
⑧.銘板	※ ステンレス製		

⑳ 排水工事

1. 排水桝	※ コンクリート製 (桝蓋付)300×300
2. 配水管	※ 硬質塩化ビニル管 (VP)100
3. 排水溝	※ コンクリートU字溝 W 240

㉑ 舗装工事

1. 路盤材料	※ クラッシャラン(C 40) 厚さ100mm
2. アスファルト舗装	加熱混合物 ※ 密粒度アスファルト混合物 (13) 厚さ30mm (ｵｰﾊﾞｰﾚｲ 厚さ30mm)
	・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)
	シールコート ※ 行う ・ 行わない

㉒ 植栽工事

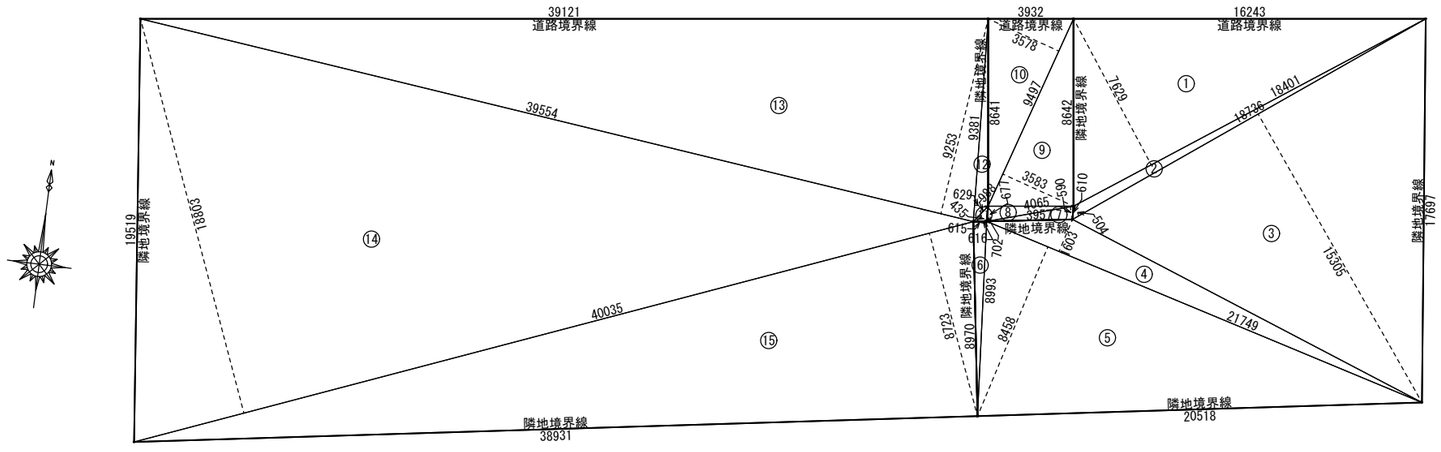
①.植込用土	※ 客土
②.植込み	※ サツキ玉 500φ
3. 植樹	
4. 支柱	

. .	. .	. .	. .	. .	図面名称: 特記仕様書(2) / 縮尺: NS / 図面番号: A-2 / 頁
	査図	担当	作図		工事名称: 平成25年度 市営白鳳門駐車場整備工事 / コード / 設計日付 . . / 全

敷地面積(駐車場)			
	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(㎡)
⑪	0.988	0.435	0.429780
⑫	9.381	0.629	5.900649
⑬	39.554	9.253	365.993162
⑭	40.035	18.803	752.778105
⑮	40.035	8.723	349.225305
倍面積　計			1474.327001
敷地面積　(㎡)			737.16

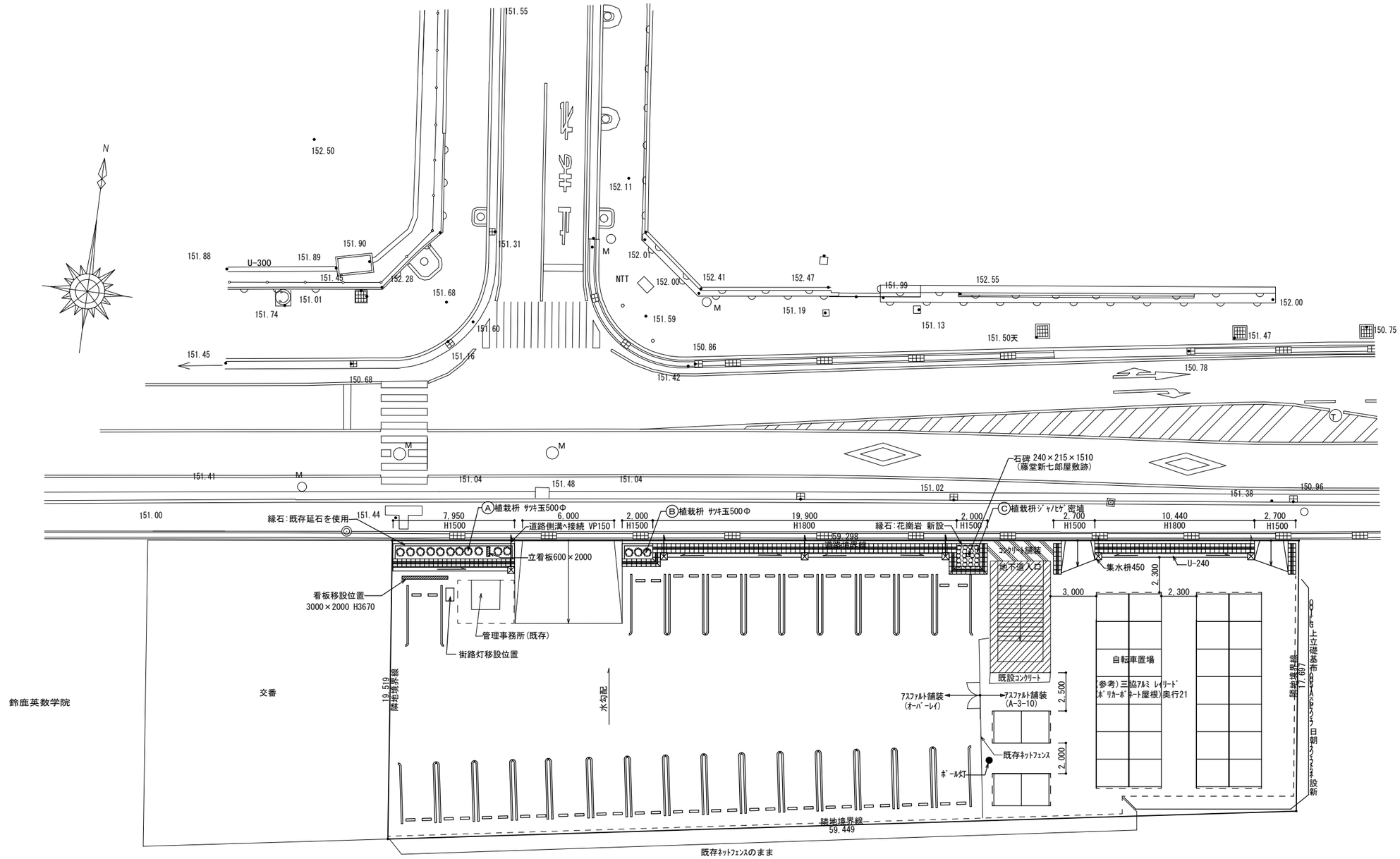
敷地面積(地下道出入口)			
	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(㎡)
⑦	4.065	0.590	2.398350
⑧	4.065	0.677	2.752005
⑨	9.497	3.583	34.027751
⑩	9.497	3.578	33.980266
倍面積　計			73.158372
敷地面積　(㎡)			36.57

敷地面積(駐輪場)			
	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(㎡)
①	18.401	7.629	140.381229
②	18.736	0.504	9.442944
③	18.736	15.305	286.754480
④	21.749	1.603	34.863647
⑤	21.749	8.458	183.953042
⑥	8.993	0.615	5.530695
倍面積　計			660.926037
敷地面積　(㎡)			330.46



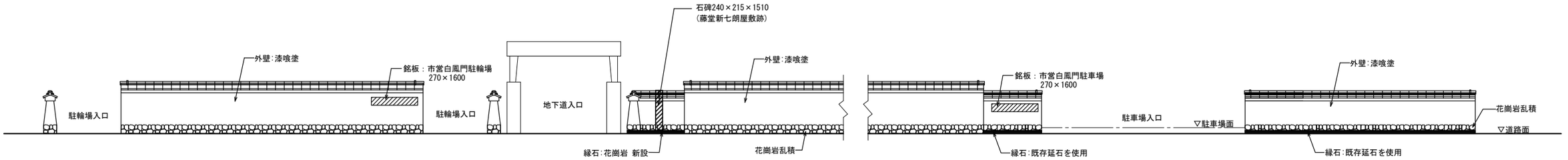
敷地求積図　S:1/200

							図面名称 敷地求積図	縮尺 A3 1:283 A2 1:200	図面番号 A-3	頁 全
							工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付 . .	
			. .	. .	. .	. .	. .			
				査図	担当	作図				

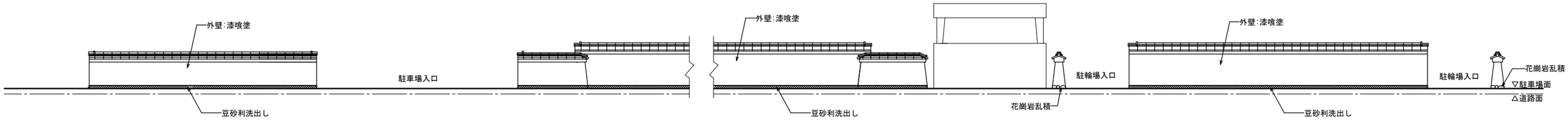


配置図　S:1/200

						図面名称 全体　配置図・平面図	縮尺 A3 1:283 A2 1:200	図面番号 A-4
						工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付
			査図	担当	作図			頁 全

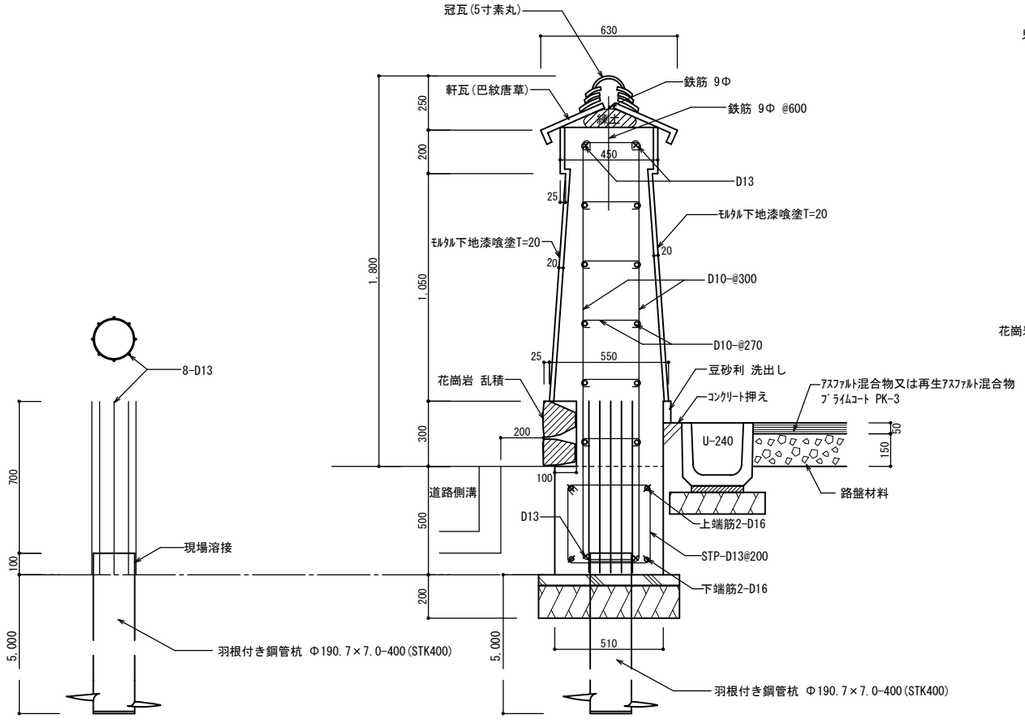


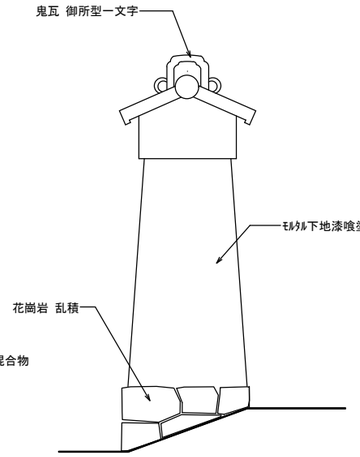
北側立面図　S:1/100

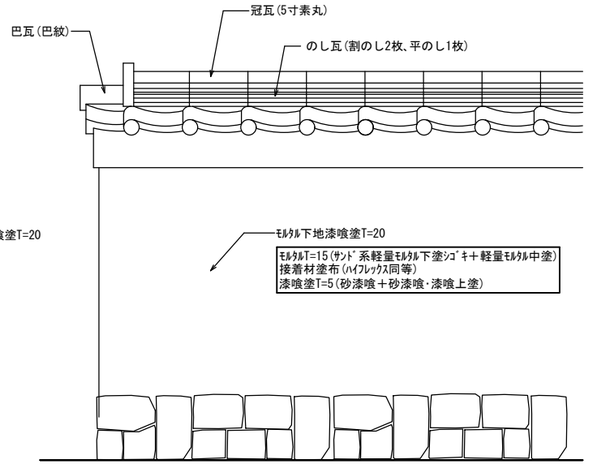


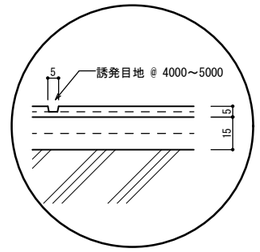
南側立面図　S:1/100

							図面名称 立面図	縮尺 A3 1:141 A2 1:100	図面番号 A-5	頁
			査図	担当	作図		工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全

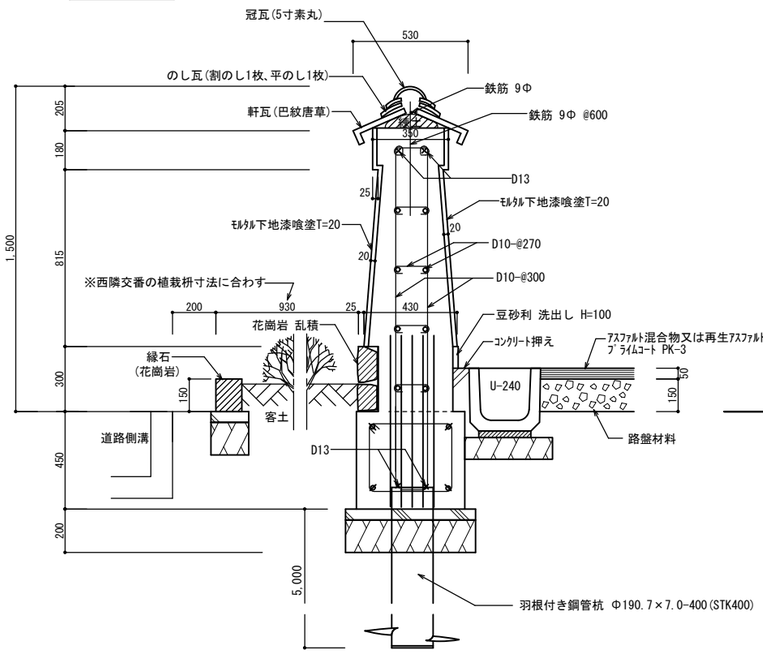


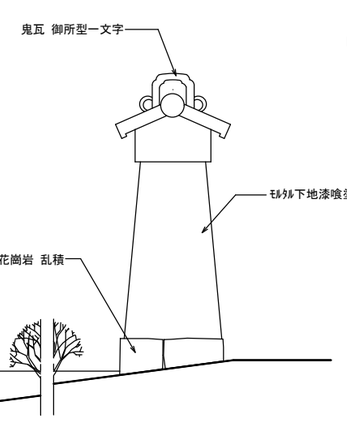


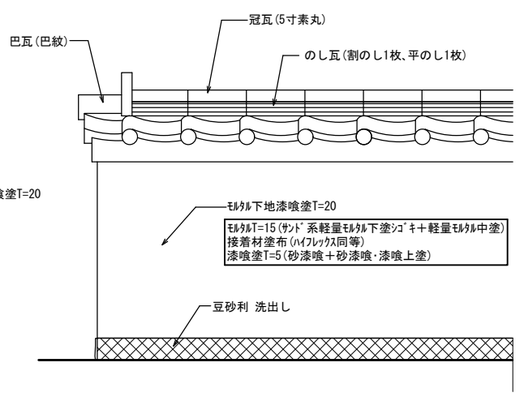


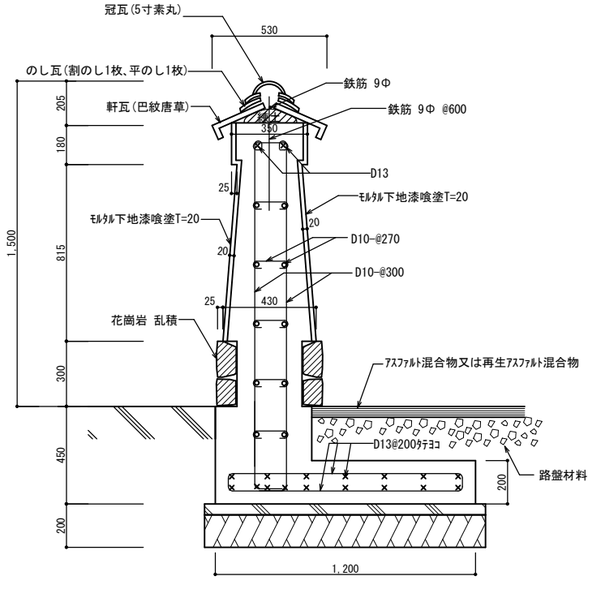


柱頭補強



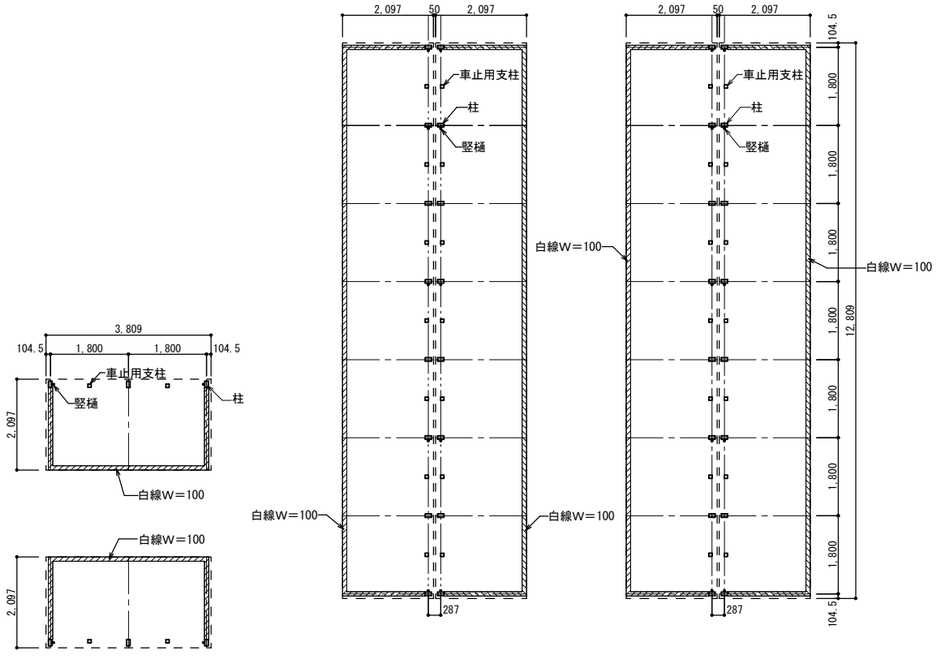






B 地下道出入口東側塀

						図面名称 土塀 断面詳細図・立面図	縮尺 A3 1:28 A2 1:20	図面番号 A-6	頁
			査図	担当	作図	工事名称 平成25年度 市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全

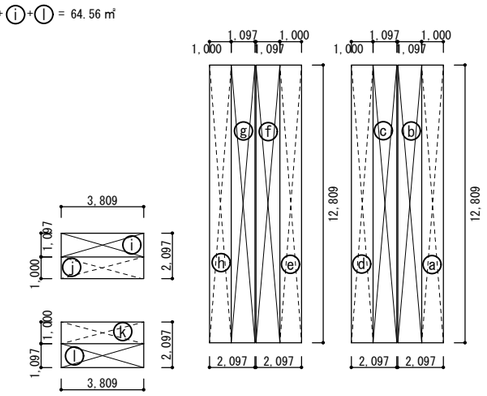


サイクルポート平面図　S:1/100

【延床面積】ⓐ+ⓑ+ⓒ+ⓓ+ⓔ+ⓕ+ⓖ+ⓗ+ⓘ+ⓙ+ⓚ+ⓛ = 123.414㎡

【建築面積】ⓑ+ⓒ+ⓕ+ⓖ+ⓘ+ⓛ = 64.56㎡

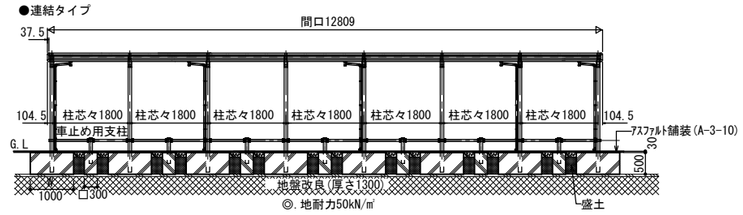
ⓐ 1.00×12.809=12.809
ⓑ 1.097×12.809=14.051
ⓒ 1.097×12.809=14.051
ⓓ 1.00×12.809=12.809
ⓔ 1.00×12.809=12.809
ⓕ 1.097×12.809=14.051
ⓖ 1.097×12.809=14.051
ⓗ 1.00×12.809=12.809
ⓘ 1.097×3.809=4.178
ⓙ 1.00×3.809=3.809
ⓚ 1.00×3.809=3.809
ⓛ 1.097×3.809=4.178



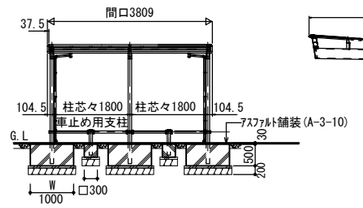
サイクルポート面積表　S:1/200

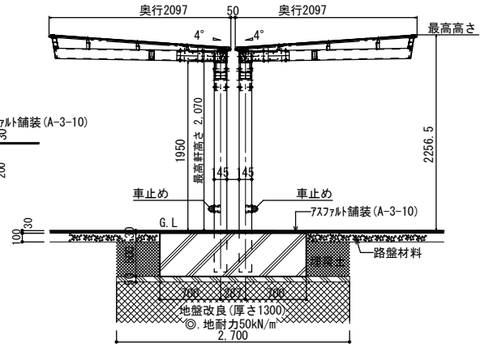
■立面図(縮尺1/100)

●連結タイプ



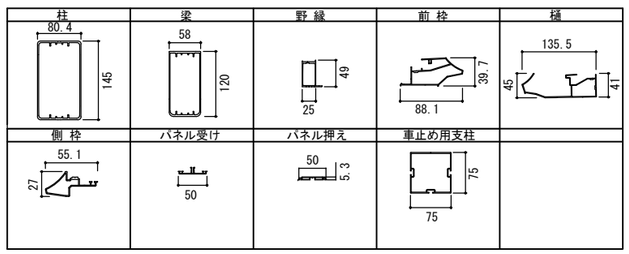
●標準タイプ





■断面図(縮尺1/50)

■主要部材一覧(縮尺1/8)



名称	サイクルポート　レイリード(同等品) オープンタイプ H=1950[D=2097]	単位:mm

■規格表(オープンタイプ)

		記号	寸法(奥行×間口)	柱芯々	
基本セット	標準タイプ	SRC-2158(Ⓐ·Ⓑ·Ⓒ)-19H	2097×3809	1800	
	連結タイプ	SRC-2129(Ⓐ·Ⓑ·Ⓒ)-19H	2097×12809	1800	

SRC-2158(Ⓐ·Ⓑ·Ⓒ)-19H
- 高さサイズを表す
- 屋根材を表す Ⓐ:ポリカ B:アルミ C:熱ポ)
- 間口サイズを表す
- 奥行サイズを表す

■材質仕様表

主要部材・部品		材質
柱・梁・野縁・車止め用支柱		アルミニウム合金押出形材　A6063S-T6
前枠・樋		アルミニウム合金押出形材　A6063S-T5
パネル受け・押え・側枠		アルミニウム合金押出形材　A6063S-T5L
雨樋		硬質塩ビ(φ42)　PVC
屋根パネル 壁・側壁パネル	ポリカーボネート 屋根タイプ	屋根パネル:ポリカーボネート板 1.5t DW-0059 壁・側壁パネル:ポリカーボネート板 2.0t DW-9054
	熱線遮断 ポリカーボネート 屋根タイプ	屋根パネル:熱線遮断ポリカーボネート板 t=1.8 DW-0059 壁・側壁パネル:熱線遮断ポリカーボネート板 t=2.0 DW-9154
	アルミ 屋根タイプ	屋根パネル:アルミ合金板材 1.0t A1050P-H24 (S1色のみ:A1100P-H14) 壁・側壁パネル:アルミ合金板材 2.0t A1100P-H14
コーナー金具		一般構造用圧延鋼材　SS400
コーナーキャップ		樹脂 ASA
側枠キャップ		樹脂 ASA
車止め(オプション)		ステンレス(φ50)

●基礎寸法表

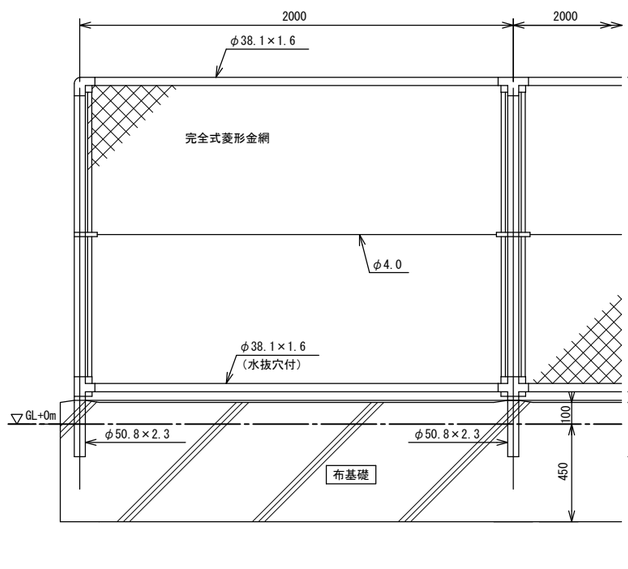
	長期地耐力(kN/㎡)	隣地距離	柱		
			a	b	w
オープンタイプ	N≧50	L≦500	300	900	1000
		L>500	300	700	1000

							図面名称 サイクルポート 平面図・立面図・断面図	縮尺 A3 1:141/71/11 A2 1:100/50/8	図面番号 A-7	頁 全
							工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	
			査図	担当	作図					

ＰＣ－Ａ１５００（同等品）

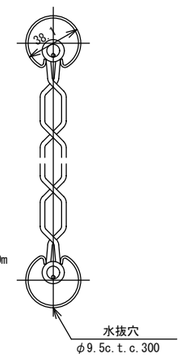
S=1:20

（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



胴縁に金網取付断面図

S=1:3



備考

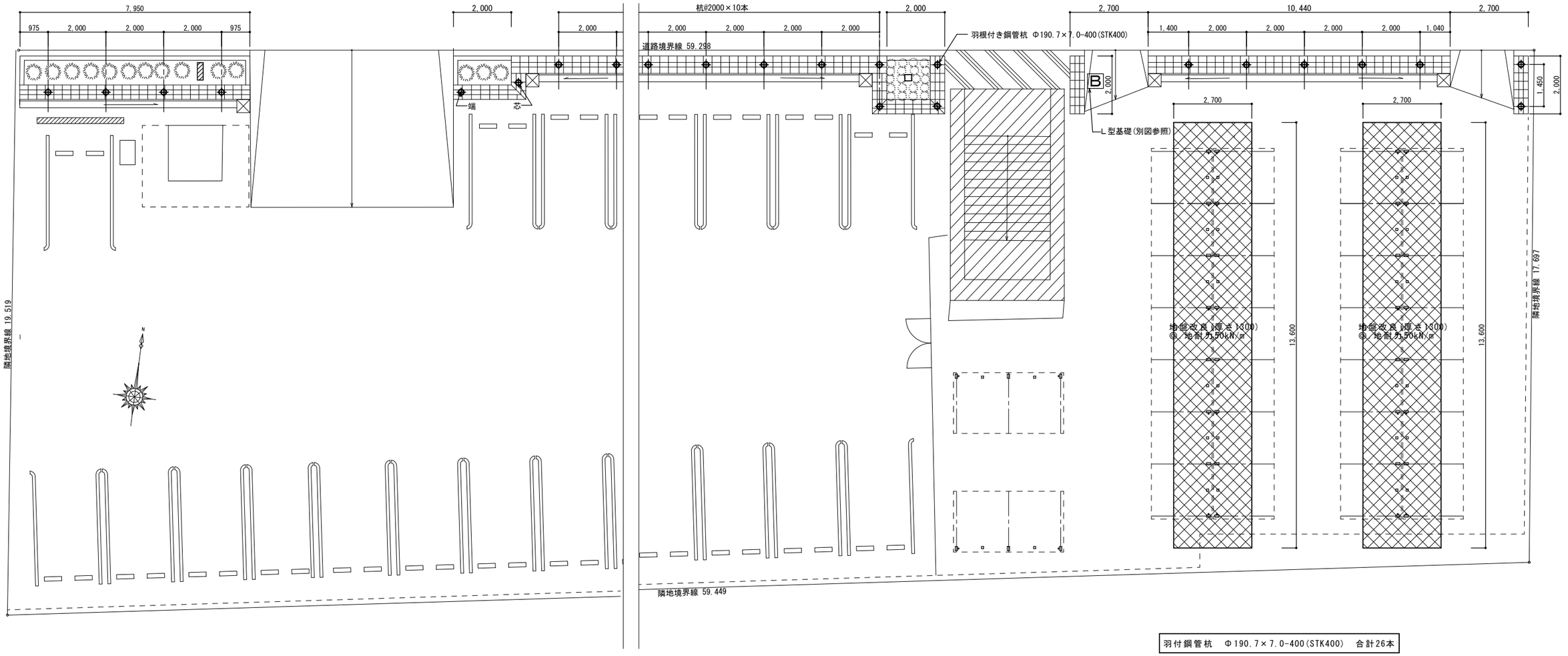
１．外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。

２．本柵の金網規格は下記の通りとする。

φ２．６×４０mm、φ２．６×５６mm

φ３．２×５０mm、φ３．２×５６mm

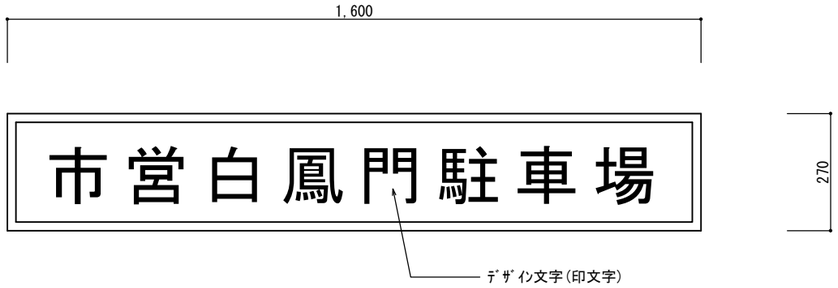
							図面名称 ネットフェンス立面図・断面図	縮尺 A3 1:28/4 A2 1:20/3	図面番号 A-8	頁
			査図	担当	作図		工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全

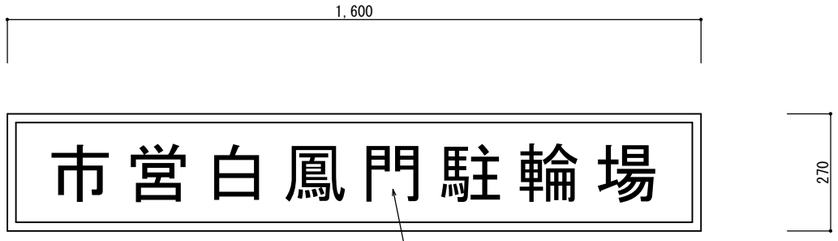


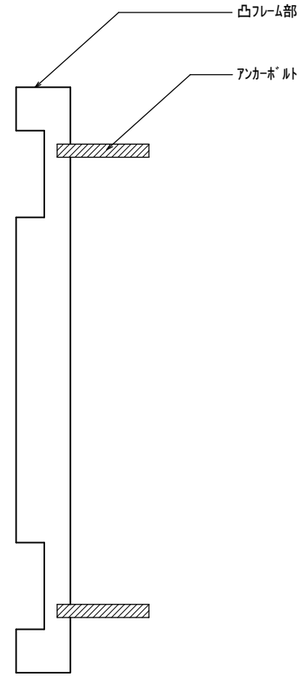
羽付鋼管杭　Φ190.7×7.0-400(STK400)　合計26本

杭伏図 S:1/100

						図面名称 杭伏図・地盤改良図	縮尺 A3 1:141 A2 1:100	図面番号 A-9	頁
						工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全
			査図	担当	作図				





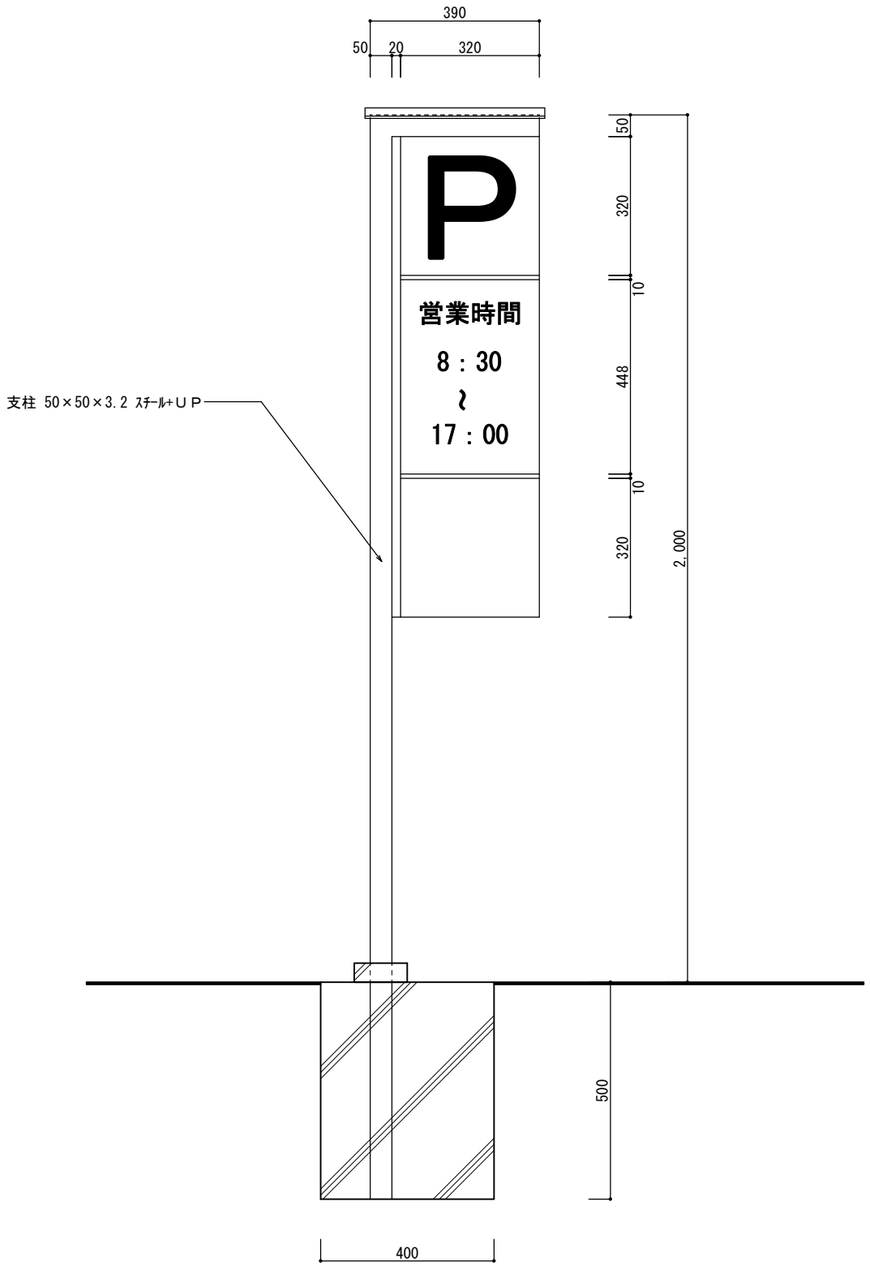


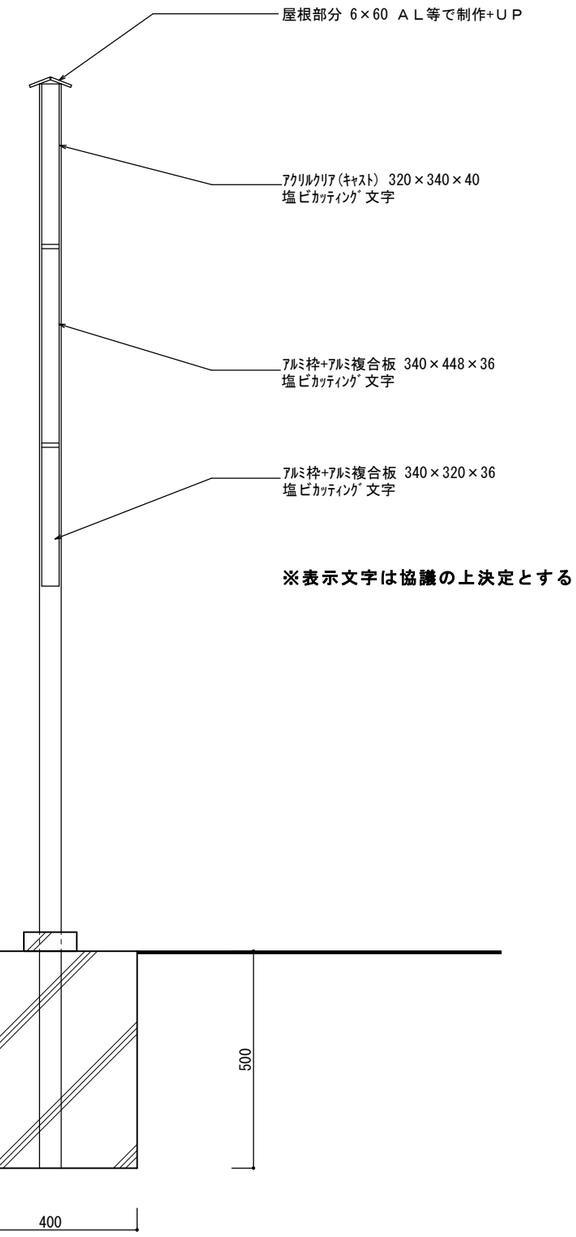
SUSｴｯﾁﾝｸﾞ銘鈑

文字､ﾌﾚｰﾑ	凸部 しゃく銅ブロンズ色
ﾍﾞｰｽ	凹部 梨地緑青風塗装
裏面	取付用SUSｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ

※ 表示文字は協議の上決定とする

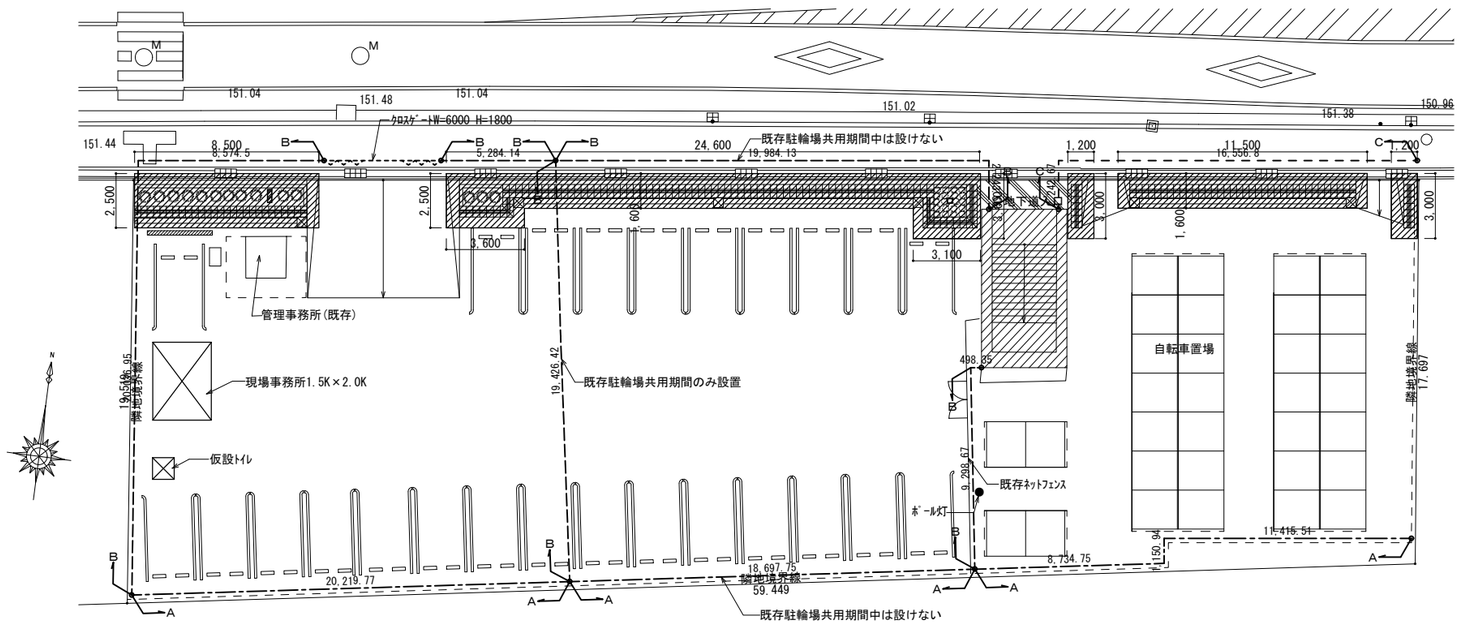
						図面名称	縮尺	図面番号	頁
						銘鈑	A-3 1:14 A-2 1:10	A-10	
			査図	担当	作図	工事名称	コード	設計日付	
						平成25年度 市営白鳳門駐車場整備工事		. .	全



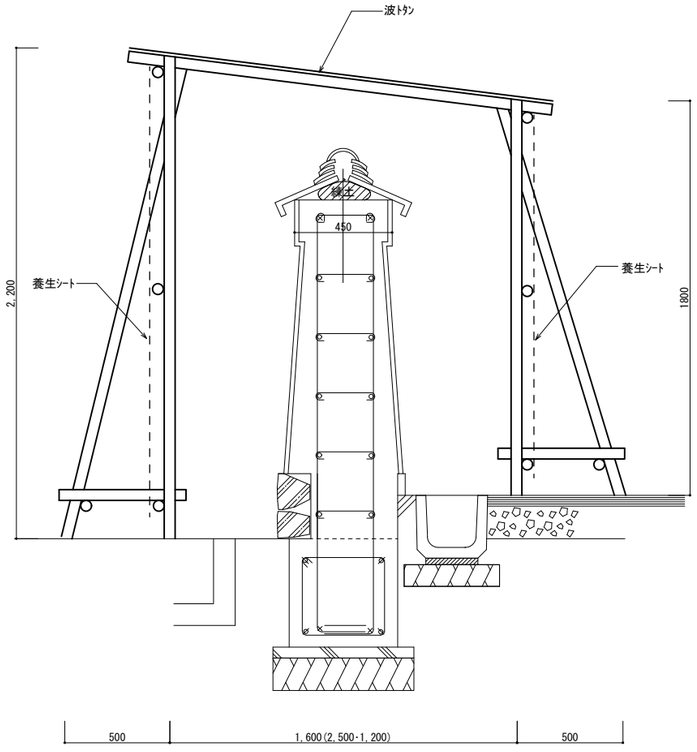


※表示文字は協議の上決定とする

						図面名称 看板	縮尺 A-3 1:14 A-2 1:10	図面番号 A-11	頁
			査図	担当	作図	工事名称 平成25 年度市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付 . .	全



仮設工事図　S:1/200

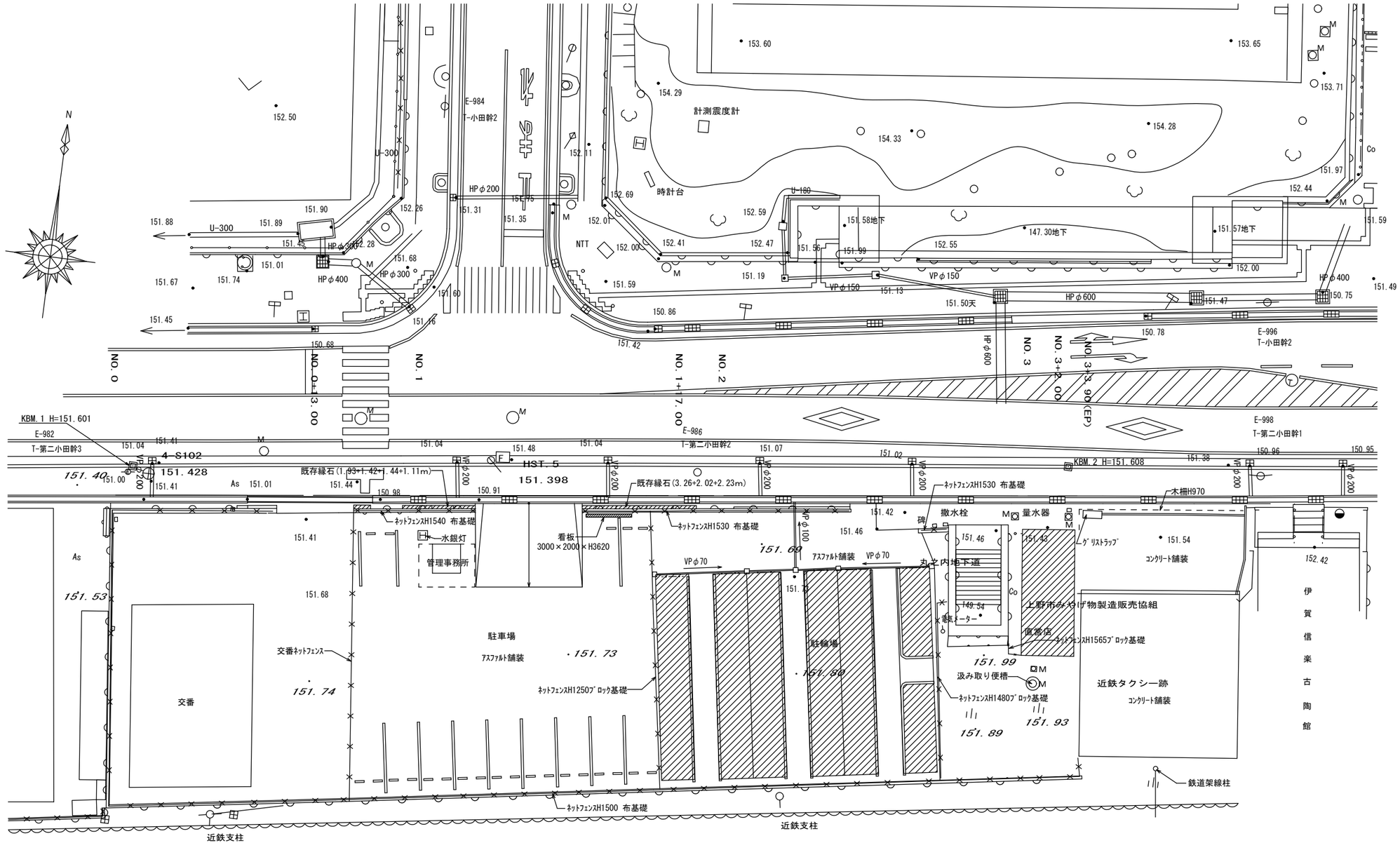


素屋根：単管パイプ組立

凡例

	土塀 素屋根 成形鋼板H=3000
	仮囲いA　成型鋼板H=3000
	仮囲いB　成型鋼板H=2000
	仮囲いC　ガードフェンスH=1800

						図面名称	縮尺	図面番号
						仮設工事図	A3 1:283/28 A2 1:200/20	A-12
						工事名称	コード	設計日付
			査図	担当	作図	平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事		頁 全

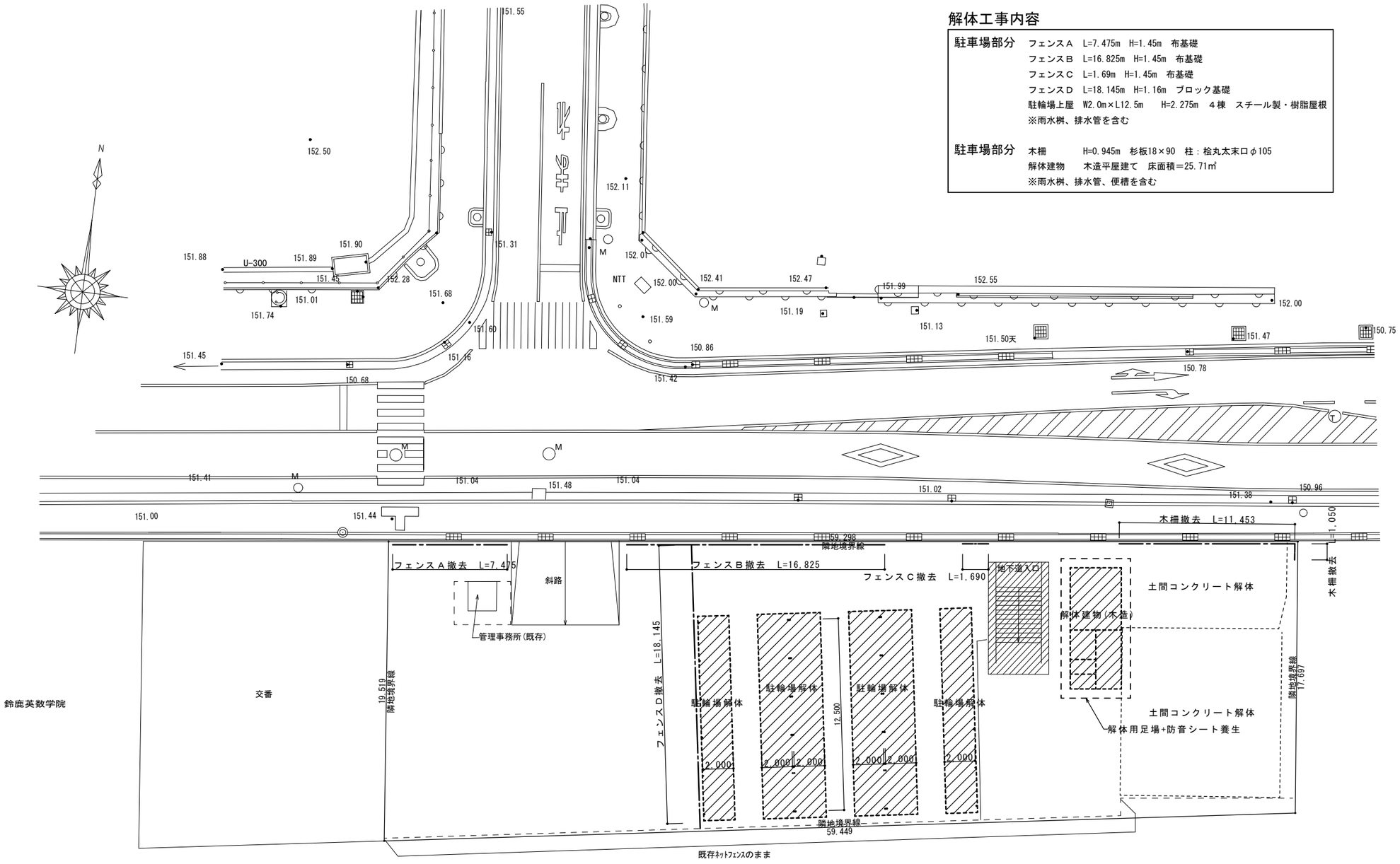


現況図　S:1/200

						図面名称 現況図	縮尺 A3 1:280 A2 1:200	図面番号 A-13
						工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付
		査図	担当	作図				頁 全

解体工事内容

駐車場部分	フェンスＡ	L=7.475m　H=1.45m　布基礎
	フェンスＢ	L=16.825m　H=1.45m　布基礎
	フェンスＣ	L=1.69m　H=1.45m　布基礎
	フェンスＤ	L=18.145m　H=1.16m　ブロック基礎
	駐輪場上屋	W2.0m×L12.5m　H=2.275m　４棟　スチール製・樹脂屋根
	※雨水桝、排水管を含む	
駐車場部分	木柵	H=0.945m　杉板18×90　柱：桧丸太末口φ105
	解体建物	木造平屋建て　床面積＝25.71㎡
	※雨水桝、排水管、便槽を含む	



配置図　S:1/200

						図面名称	縮尺	図面番号
						解体図	A3 1:283 A2 1:200	A-14
						工事名称	コード	設計日付
						平成２５年度　市営白鳳門駐車場整備工事		
			査図	担当	作図			頁 全

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事名称　　平成２５年度　市営白鳳門駐車場整備工事　設計図

Ⅱ　工事場所　　三重県伊賀市上野丸之内　地内

Ⅲ　建物概要

建物名称	構　造	延面積（㎡）	消施令の適用	備　考

Ⅳ　工事仕様　　＊包含工事の場合、◆印の項目及び事項については元請業者の業務内容に含むものとする。

項　目	特　記　事　項
１．施行基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 ＊国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「公共建築工事標準仕様書　最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書　最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」　最新版 ＊国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備耐震設計・施工指針２００５年版」 ＊電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） ＊電力会社供給約款 ＊消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） ＊電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 ＊その他関連法規、関連諸基準
２．一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとおりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
・施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。 ◆総合施工計画書 ＊詳細施工図（施工図リストを含む） 主要機器、重量機器、３ｋｇ超過吊器具等については固定方法、吊り方法等の詳細図を作図し充分な耐震性能を確保する施工法を提案すること。 なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。
・工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 ＊使用機材届出書（メーカーリスト） ＊機器明細図（主要機器の耐震計画書、大空間の照度計算書、配光図を含む） ＊カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー（参考）及び国土交通省大臣営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又はこれらと同等以上のものとする。 また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。
◆工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
◆工事写真	国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂第３版）ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。 なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照 ＊全写真をサムネールにて印刷（Ａ４版用紙に両面印刷にて１５枚程度／ページ）　１部 ＊代表写真（不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出しＬ判相当サイズで印刷。　（Ａ４版用紙に両面印刷にて３枚／ページ）　１部
◆完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相当サイズで印刷する。 （Ａ４版用紙に３枚／ページ）１部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。
・完成書類	工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 ◆工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 ◆製本図面（竣工図、施工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズ及びＡ３縮小版を各２部・施工図は、原図サイズ１部。 白焼き（青焼き不可）で文字潰れのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、請負者名」を印字（シール不可）すること。 ◆引渡目録、工事書類預り書 ◆工事書類（工事写真、工事日報、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） ＊工事書類（打合記録、工事材料搬入報告） ＊完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） ＊官公署手続き書類等（検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） ＊その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。 なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。
・完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。

項　目	特　記　事　項
◆施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
◆事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
・発生材の処理等	引き渡しを要するもの（　　） 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物　□変圧器　□コンデンサ　□その他（　　） 処理方法　■現場内の監督員の指定する場所へ保管 なお施工に際して、ＰＣＢ等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。　引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。 （マニフェストＡ、Ｅ票の写を監督員に提出する）
・残土処分	☑構内敷きならし　□場外搬出（片道運搬距離　約　　ｋｍ）
◆電子納品	工事写真は「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」等に基づき電子媒体も提出すること。（提出部数　※２部・　部） 竣工図・施工図のＣＡＤデータ（ＪＷＷ）及びＰＤＦを格納。
・諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。
・既設との取合い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
・既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行なうよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。
◆不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第１０号）を受けた場合の措置について （１）受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除処置要綱第２条第１項第１項第８号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （２）（１）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （３）受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
３．耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成８年版」（建設大臣官房長官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針（２００５年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度（Ｋｓ） （２）地域係数は１．０とする。 （３）自重が１００ｋｇ以下の比較的軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。 （４）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。 （５）耐震安全性の分類 本施設は、構造体（　）類　建築非構造部材（　）類　建築設備（　）類 （６）機器の耐震計算書を提出すること。 重量１ｋＮ（１００ｋｇ）以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。
４．施工	（１）塗装 ・指定色で２回塗りとする。 金属管、２種金属線ぴ、吊りボルト、支持具等鋼板製（ＳＵＳ、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く）は原則として塗装を施すこと。 （２）行先表示等 ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 （３）セパレータ ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （４）保護キャップ等 ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ２ｍ以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （５）地中埋設配管及び埋設表示杭・シート ・配管の埋設深さは、強電＝ＧＬ－７５０、弱電＝ＧＬ－６００とする。 埋設Ｗシート、埋設表示杭を布設のこと。
５．市内企業優先使用	本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、元請負金額のうち３割以上を市内に本店を有する業者に発注（資材等の購入を含む）するよう努めること。
６．その他	（１）使用機械 ・低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （２）測定機器の校正記録 ・工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （３）設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分　類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類（エコ電線・ケーブルを優先使用）	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＣＳ（日本電線工業会規格）規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関（（社）電線総合技術センター）または指定認定機関（（社）日本電線工業会（耐火・耐熱電線認定業務委員会））により認定または許定されたもの ●（社）日本電線工業会により自主認定（許定）されたもの
	圧着端子 裸圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品
電線保護物類	金属管、ＶＥ、ＰＦ、ＨＩＶＥ、ＦＥＰ、ＣＤ、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フロアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●ＪＩＳ規格適合品 ●ＪＩＳ規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具（省エネ型を優先使用）		●ＪＩＳ規格適合品 ●（社）日本照明器具工業会標準（ＪＩＬ規格）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		●（社）日本配電制御システム工業会規格（ＪＳＩＡ）適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	キュービクル式配電盤		●ＪＩＳ規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による

注　・「ＪＩＳ規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示（製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にＪＩＳマーク表示、またはＪＩＳ規格証明書等の添付）のあるものをいう。
・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（電気設備機材機械設備機材）」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。
・特殊仕様の資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

工事範囲

◉電灯コンセント設備	工事範囲	◉配管　◉配線　◉機器取付　◉電力会社への申請費
	配線器具	◉特別なものを除き大角型とする
	プレート	○新金属　○ステンレス　○フルカラー（　　）
	照明器具	○蛍光灯の２０Ｗ以上、ＨＩＤ器具の安定器は何れも省電力型を優先とする。 ○パイプ吊りの照明器具は揺れ止めを施工する。
	フロアーコンセント	○アップコン　○収納式（上下可動）　○固定式
	非常照明	○ＢＴ内蔵型　○ＢＴ別置き型
	照度測定	○行う（各居室　３ポイント）　○行わない

							図面名称	縮尺
							電気設備　特記仕様書	NS
							工事名称	コード
							平成２５年度　市営白鳳門駐車場整備工事	

図面番号	頁
E-1	全

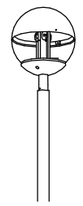
設計日付
. .

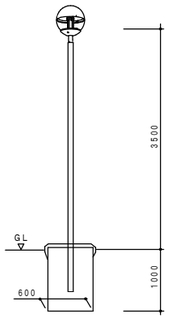
査図	担当	作図
. .	. .	. .

A	ＬＥＤエクステリアライト　直管蛍光灯２０形器具相当	B	ＬＥＤモールライト　コンパクト蛍光灯ＦＨＴ５７形相当

防雨型
拡散タイプ、５０００Ｋ、Ｒａ８５
電圧１００Ｖ、壁面（縦・横向き）・天井面取付専用
カバー：アクリル（乳白）
本体：プラスチック（ホワイト）
ツマミネジ方式、Ｗ＝６７０　Ｈ＝１１０　出しろ１２１

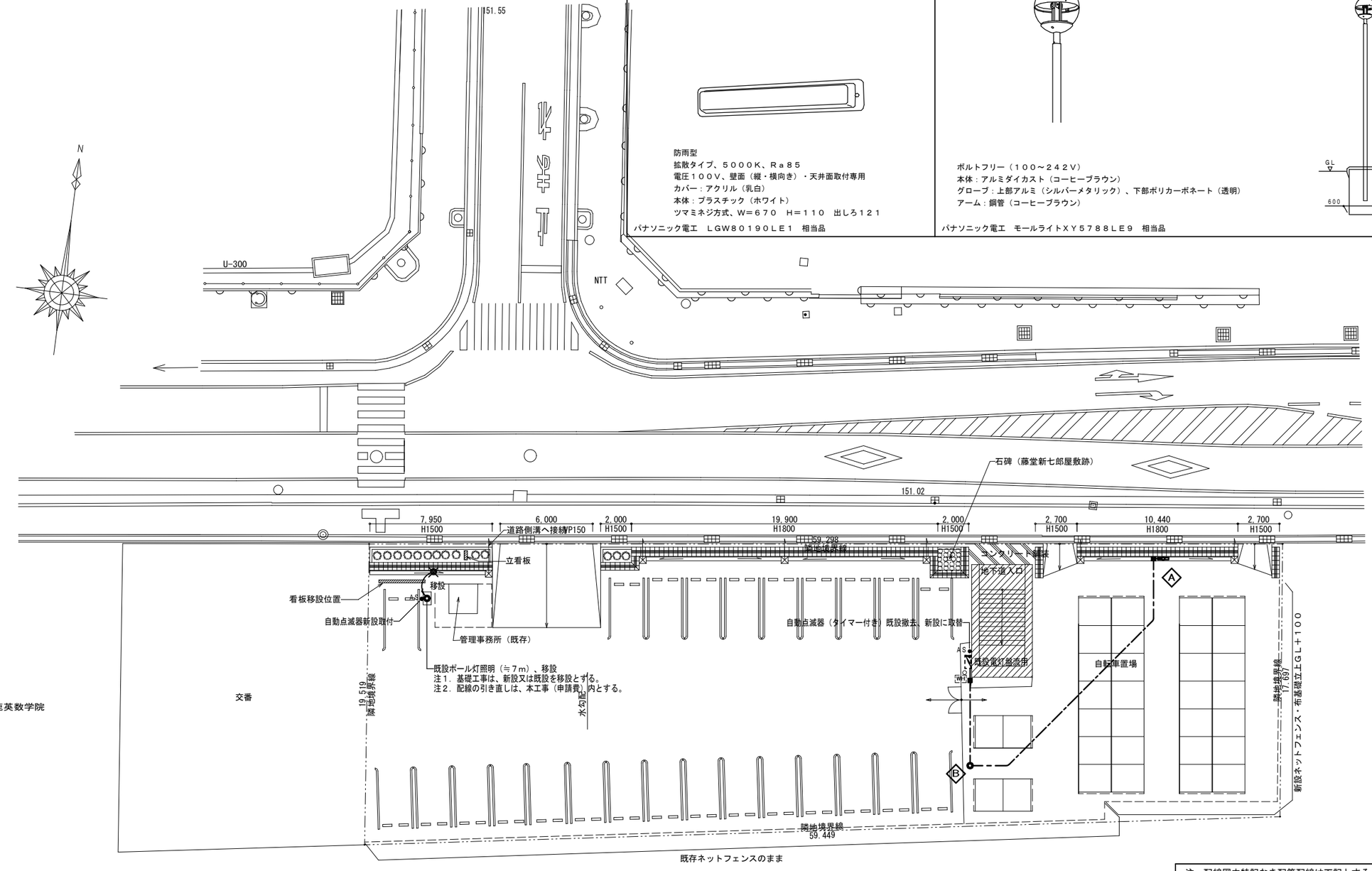
パナソニック電工　ＬＧＷ８０１９０ＬＥ１　相当品





ボルトフリー（１００～２４２Ｖ）
本体：アルミダイカスト（コーヒーブラウン）
グローブ：上部アルミ（シルバーメタリック）、下部ポリカーボネート（透明）
アーム：鋼管（コーヒーブラウン）

パナソニック電工　モールライトＸＹ５７８８ＬＥ９　相当品



配置図　S:1/200

注　配線図中特記なき配管配線は下記とする。
CE 3.5'-3C(25) 露出塗装有
CE 3.5'-3C(FEP30) GL-750
⊠ ----P.BOX(SUS) wp150×150×100

							図面名称	縮尺	図面番号
							電気設備　設備図	A3 1:283 A2 1:200	E-2
			査図	担当	作図		工事名称	コード	設計日付
							平成２５年度　市営白鳳門駐車場整備工事		頁 全

機械設備工事特記仕様書

◉印を付けたものを本工事に適用する。

建築概要

工事名称	平成２５年度　市営白鳳門駐車場整備工事
工事場所	＊建築仕様書参照

建物名称	構造	階数	延べ面積（㎡）	備考
				＊建築仕様書参照

一般事項

適用仕様書	○ 三重県公共工事共通仕様書 ◉ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」 ○ 空気調和・衛生工学会規格　「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ○ 日本建築家協会編　「建築設備工事共通仕様書」 ◉ 所轄水道局 ○ ガス供給社内規 ○ 消防関係法規（所轄署指導要綱含む） ◉ その他関連法規
優先順位	１．現場説明事項・質疑応答書　２．本特記仕様書　３．設計図書　４．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。
工程表	実施工程表、月間工程表を関連業者間にて十分協議して作成し、監督員に提出する。
施工図	請負者は施工に先立ち、施工計画書、工種別施工要領書、施工図等を作成し、監督員と打ち合わせを行うこと。 施工図等の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討する。
機器及び材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、 その他諸資料を事前に届け出ること。　尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているので、 メーカーの選定にあったては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律 （グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に務める。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等 とりまとめ提出すること。
工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂版）ー建築設備編」によるほか、監督員の指示により撮影し提出する。 カラーサービス版とする。
耐震措置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「建築設備耐震設計・施工指針」による。
発生材処分	発生材を処分する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「再生資源の利用の促進に関する法律」に基づいて適正に 処理する。（マニフェストＡ、Ｂ２、Ｄ票を提示し、Ｅ票は、写しを提出すること） 建設リサイクル法（三重県指針）に基づき再生資源の十分な利用及び廃棄物の原料等を通じて、資源の有効な利用の確保 及び廃棄物の適正な処理を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること。

特記事項

◉ 地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。
◉ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように　「建築設備耐震設計指針」により施工する。
○ 防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。
○ 建物導入配管（給水、ガス、消火）は充分な可撓製を有する変位吸収配管施工をおこなう。
○ 水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはＶＰ管、他は紙製等のスリーブを使用することができる。
◉ 排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。
◉ 既存コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
○ 土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。
○ 屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
◉ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。
◉ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ステンレス製）とする。

共通事項

保温工事

○ 保温施工範囲は共通仕様書による。

○ 保温施工種別
- ○ 共通仕様書による。
- ○ 下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）

屋内露出	グラスウール保温筒	合成樹脂カバー
屋外露出・多湿箇所	グラスウール保温筒	ステンレス鋼鈑仕上げ
天井・ＰＳ内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス
床下・暗渠内	グラスウール保温筒	防水麻布（アスファルトプライマー）

○ 保温厚さ
- ○ 共通仕様書による。
- ○ 下表による。（但し機器、煙道は共通仕様書による。）

	８０Ａ以下	１００～１５０Ａ	２００Ａ以上
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管 消火管（但し屋外のみ）	20mm	25mm	40mm

	２５Ａ以下	３２～２００Ａ	２５０Ａ以上
冷水管・冷温水管	30mm	40mm	50mm

○

工事種別

	屋外	屋内		屋外	屋内
給排水衛生設備			空調設備		
給水設備	◉	○	機器設備		○
排水設備	◉	○	配管設備		○
衛生器具設備		○	ダクト設備		○
給湯設備		○	換気設備		○
ガス設備	○	○	排煙設備		○
消火設備	○	○	自動制御設備		○
ろ過設備		○			
浄化槽設備	○				

工事範囲

◉ 給水設備	◉ 給水方式	◉ 水道直結方式		
		○ 高架水槽方式	○ 市水	○
		○ 圧送方式	○ 圧力タンク	○ 回転数制御
	○ 受水槽　本体	○ ＦＲＰ製	○ 一体型	○ 複合板　○ 単板
			○ パネル型	○ 複合板　○ 単板
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ パネル型
		○ 鋼鈑製	○ 一体型	○ パネル型
	○ 高架水槽　本体	○ ＦＲＰ製	○ 一体型	○ 複合板　○ 単板
			○ パネル型	○ 複合板　○ 単板
		○ ステンレス製	○ 一体型	○ パネル型
	◉ 配管材料	◉ ライニング鋼管	一　般	○ VA　○ VB　○ VD　○ PA　○ PB　○ PD
			地　中	◉ VD　○ PD　○ SUS
		○ 塩化ビニル管		○ HI　○ VP　○ ポリ管
		○ さや管工法	○ 架橋ポリ管	○
	◉ 弁　類	直結部分	◉ 水道業者指定品	
		その他の部分	○ JIS 5 kgf/cm2	◉ JIS 10 kgf/cm2
	◉ 量水器	○ 貸与品	○ 買取品（私設）	
	○ 引込加入、市納金等	○ 要	○ 別途工事　○ 本工事	
		○ 不要		
	○ その他	○		
◉ 排水設備	◉ 排水方式	屋　内	○ 分流方式　○ 合流方式	
		屋　外	○ 分流方式　○ 合流方式	
		雨　水	◉ 分流方式　○ 合流方式	
	◉ 放流先	汚　水	○ 下水管（側溝）　○ 浄化槽　○ 合併処理槽　○ 既存桝	
		雑排水	○ 下水管（側溝）　○ 合併処理槽　○ 側溝又は河川　○ 既存桝	
		雨　水	○ 下水管　○ 調整池　◉ 側溝又は河川　◉ 既存桝	
	◉ 配管材料	屋内汚水管	○ メカニカル形排水鋳鉄管　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手）	
			○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管	
		雑排水管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）［機械廻り］　○ 排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はMD継手）	
			○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐熱性硬質塩化ビニル管	
		通気管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 耐火被覆ビニル管	
		屋外排水管	○ 遠心力鉄筋コンクリート管　（外圧管　○ ２種　○ １種）	
			◉ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）　○ 硬質塩化ビニル管（ＶＵ）［１５０以上］	
	◉ 桝　類	○ 公団形（Ｂ種）	○ 現場打ち　○ 市販桝　◉ 小口径　○ ビニル桝	
	○ その他	○		

メーカーリスト　　下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。

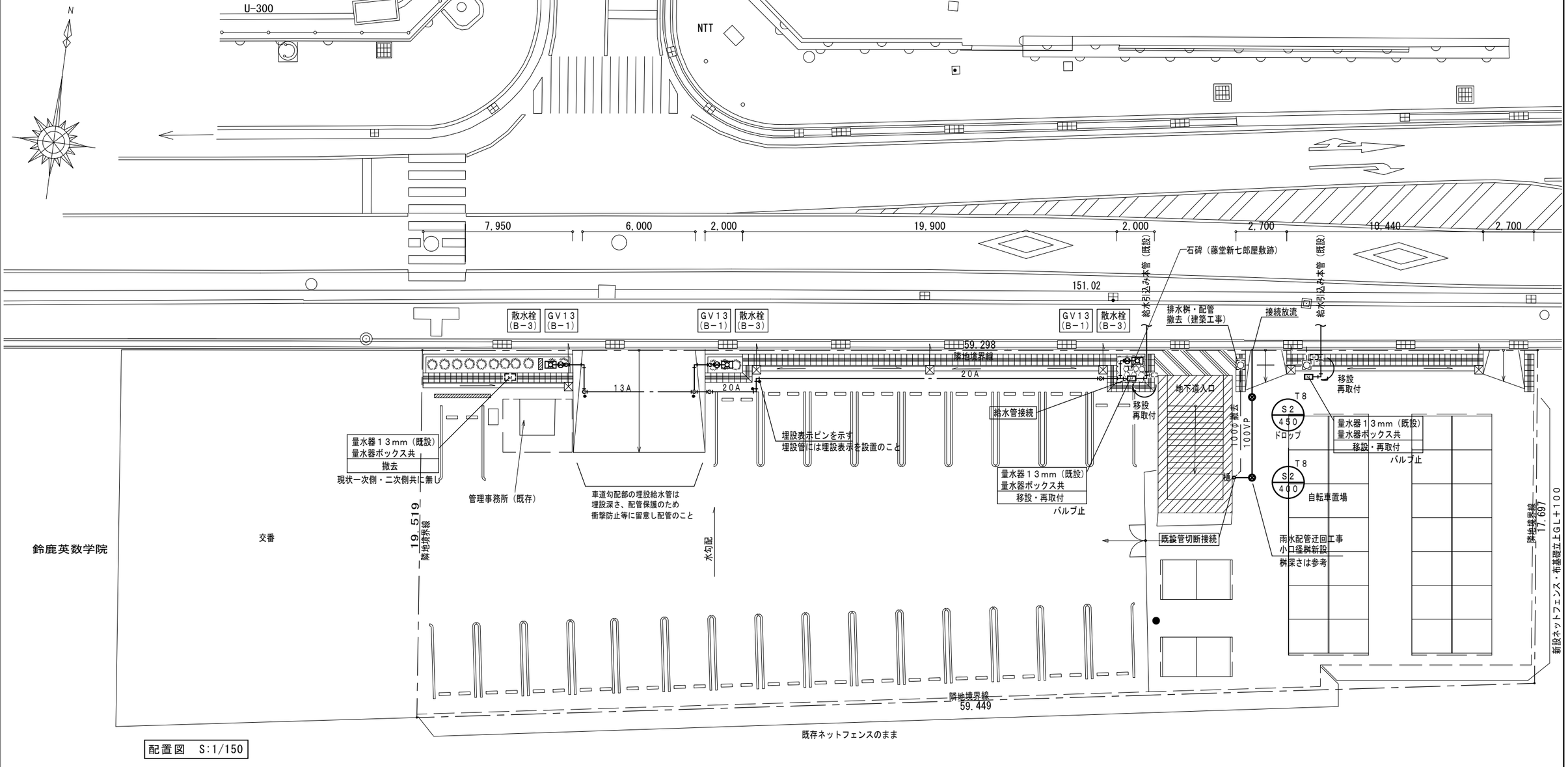
管	継手共	水マーク表示品／ＷＳＰ表示品／ＪＩＳマーク表示品／ＨＡＳＳ表示品／ＪＰＦ規格品／ＳＡＳ規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
衛生器具	衛生器具類	ＪＩＳマーク表示品　　ＪＩＳ規格以外：ＩＮＡＸ／ＴＯＴＯ
桝	桝類（塩ビ桝）	日本下水道協会、排水設備用樹脂製マス協会規格対象品又は準拠品
量水器	量水器	愛知時計電機／金門製作所／リコーエレメック

							図面名称 機械設備　特記仕様書	縮尺 NS	図面番号 M-1	頁
							工事名称 平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全
			査図	担当	作図					

図　示　記　号

記　　号	名　　称
――――――－―――――	給　水　管
――――――――――	排　水　管
⊠	給　水　栓
⊗	小　口　径　雨　水　桝　　２００φ Ｔ　→　鋳鉄製蓋（Ｔ－８） ドロップ　→　ドロップ桝

配管類、桝類の撤去工事は建築工事とする
舗装はつり復旧は建築工事とする



配置図　S:1/150

						図面名称	機械設備　配置図	縮尺 A3 1/212 A2 1/150	図面番号 M-2	頁
		査図	担当	作図		工事名称	平成25年度　市営白鳳門駐車場整備工事	コード	設計日付	全